

世界史 問題 I

【出題の意図】

中国文化史の変遷が、中国史の大きな流れとどのように対応しているかについての理解程度を見ると同時に、事実関係に関する基本知識を問うている。

【正解・解答例】

問 1

- a) 甲骨文。
- b) それは神に対する王の問いとその答え、すなわち神政一致時代における「まつりごと」の記録「卜辞」として用いられた。

問 2

- a) 孔子。儒家。
- b) 儒家は「孝」を中心とする家族道徳の実践により「仁」を実現し、またこの「仁」にもとづく徳治主義の政治を行なうことを説いた。

問 3

- a) 『史記』（もしくは『太史公書』）。
- b) 紀元前一世紀（紀元前二世紀から一世紀としても可）、前漢の司馬遷。
- c) 紀伝体。

問 4

- a) 東晋の陶潜（淵明）、宋（劉宋）の謝靈運（など）。
- b) 四六駢儷体。
- c) 『文選』。梁の蕭統（昭明太子）。

問 5

- a) 科挙。ひろく非特権階級に対しても門戸を開き、学科試験を通じ、能力主義原理による人材登用を実現する。
- b) 隋の文帝（楊堅）。

世界史 問題 II

【出題意図】

インドを中心とした世界史の基本的な知識を問うとともに、交易の構造を理解する能力をみる。

【正解・解答例】

問1 胡椒 (コショウ)

問2 中国 e、東南アジア d、西アジア c、ヨーロッパ b

問3 マムルーク朝

問4 【例】 北インドの地方語をもととし、語彙にペルシア語・アラビア語起源の単語が多く含まれ、アラビア文字 (ペルシア文字) で書かれる。現在はパキスタン (およびインドの一部) の公用語である。

問5 【例】 ムガル帝国のジズヤは非イスラーム教徒に課された人頭税である。アクバルはヒンドゥー教徒との融和のためにジズヤを廃止し、アウラングゼーブはこれを復活した。

問6 13世紀

問7 ヒンドゥー教

問8 【例】 ポルトガルのヴァスコ＝ダ＝ガマが 1498 年に喜望峰をまわってカリカットに到達したことにより、インド航路が開かれた。その後ポルトガルは 1510 年にゴアを占領し、貿易の拠点とした。

世界史 問題Ⅲ

【出題意図】18世紀から19世紀前半の欧米の歴史にかかわる重要な諸史料を手がかりに、正確な歴史的知識を問うとともに、それらの知識を踏まえて的確に叙述する能力をみる。

【正解・解答例】

問1 A：5、B：1、C：3、D：4、E：2

問2 C → E → B → D → A

問3 【解答のポイント】ポルトガルの王子が皇帝となり、ブラジル帝国として独立していたことなどを簡潔に記述する。

問4 代表なくして課税なし

問5 ルイ14世

問6 【解答のポイント】各州に大幅な権限を認めながらも、連邦政府の権限を強める連邦主義を採用したことなどを簡潔に記述する。

問7 ア：フランス、イ：スペイン

世界史 問題Ⅳ

【出題の意図】

紀元前 5 世紀の後半に整備されたアテネのアクロポリス、及びこれに対する世界遺産としての現代の評価（キーワード）を手掛かりとして、アテネの政治的・文化的繁栄、及びそこで実践された民主政治の理念を支えた歴史的背景についての理解を問う。

【解答例】

紀元前 5 世紀のアテネは、ペルシア戦争におけるギリシアの勝利に大きく貢献したことにより、ギリシアの最有力都市国家としての地位を確立した。アテネでは、ペルシア戦争の勝利は専制に対する自由の勝利であるという意識が高まり、すべての市民が政治に参加することができる民主政治が推し進められた。紀元前 5 世紀の後半になると、アテネはペリクレスの政治的な指導のもと、デロス同盟を通じたギリシア諸都市の支配によってますますその勢力を高め、経済的にも文化的にも繁栄したが、そのシンボルとなったのが、当時の技術の粋を尽くしてアクロポリス上に建築されたこのパルテノン神殿だった。アテネのアクロポリスは、民主主義という現代では普遍的な価値が認められている政治思想の源が古代ギリシアにあったことを想起させる、貴重な遺跡なのである。(350 字)